

人権だより No.294(2022.9)

一枚のはがきと私の人権

生徒人権委員長 6年4組 薬師神 有菜

先日、家に私宛の一枚のはがきが届きました。それは、私の人生で初めての参議院議員通常選挙の投票所入場券でした。正直に言うと、初めは行く気はありませんでした。当日は模試もあったので、わざわざ行くのも面倒くさいなと思っていました。しかし、父に「これからのために一回選挙を経験しておくべきだ。」と言われ、また友達みんなも選挙に行くということを聞いて、とりあえず一回行ってみようと思い、両親と行くことにしました。



選挙に行くにあたって、前もって各党の公約を調べることにしました。各党がどのような方針なのかをまとめているインターネットのサイトを見て、それをもとに自分で考えて投票しました。公約は私の知らない単語ばかりで、自分がいかに政治に興味がないのかを知らされました。静まり返った投票所は当たり前のように大人ばかりで、初めての選挙だからといってサポートもしてくれることなく、自分が大人に近付いていることを実感しました。一人の高校生の意見が日本の政治に影響を与えるということに、わくわくすると同時に責任を感じました。これまでは全然興味のなかった開票速報のテレビ番組を見るなどして、前よりも政治に関心を持つようになりました。私の一票で日本が変わるとまでは思いませんが、投票というのは自分の意見を政治に反映させる数少ない場であり、自分の人権を守るために必要なことだと思いました。昔は女性や15円以上税金を納めることができなかった人は選挙権がなかったのに、現代の選挙権がある私が自分の意思を表明しないのは昔の人に申し訳ない気がします。自分が生きやすい世の中にしていくためには、情報をたくさん得て、主体的に動くことが大切であることを知る、いい機会になりました。周りの人権を守っていくことももちろん大切ですが、まずは自分の人権を大切にしていこうと思います。

【保護者の声】 文章を読んだ PTA 人権委員の方の感想です。

人権を守るための一つの手段である選挙。政治を通じて、世の中のいろいろな仕組みに興味を持つ、良い機会になったのではないのでしょうか。勉強も大事ですが、今後、社会に出るまでにいろいろなことを吸収して、未来に羽ばたいてください。共により良い社会にしていきたいと思います。(6年生保護者)

普通選挙の制度は民主主義の根幹であり、憲法で保障された権利です。投票にあたり、事前に各党の政策を調べるなどして、その権利を行使することは大切なことだと思います。確かに、薬師神さんの投じた一票のみをもって日本を変えることはできないかもしれませんが、若い皆さん一人一人が投票に行き、その世代の投票率が上がれば、政治家は若い人たちのための政策をもっと考えるでしょうね。これからも政治への関心を持ち続けてほしいと思います。(4年生保護者)

【人権委員の声】

私はまだ中学生で選挙に行けません、正直、私が行っても何も変わらないと思っていました。けれど、昔は選挙権がなかったのに、今では権利が与えられているので、発言しないというのは、とてももったいないことだと思いました。(1年生 人権委員)

私も薬師神さんと同じように、自分の一票で結果が変わることはないと思っていましたが、「これからのために、一回選挙を経験しておくべきだ。」という言葉は、確かにその通りだと思いました。(2年生 人権委員)

私は今 14 歳で、選挙に行けるようになるまでにはあと 4 年です。今までの私にとって、選挙というのはもっと遠い存在だと思っていました。しかし、この文章を読んで、選挙の身近さを強く感じました。私の両親も選挙の日が来ると必ず投票に行きます。私はそれを見て、面倒くさそうだと思うことがありましたが、私の一票で政治に影響を与えると考えると、とても大切なことだと改めて思いました。私も選挙に責任を持って取り組みたいです。(3年生 人権委員)

自分から動くことは場合によっては勇気のいることだけど、周りや自分の人権を守るためには重要なことだと思った。私も来年には投票できる年齢なので、この機会に政治を含めて、世の中のことについて広い視点で見て行こうと思った。そして、吸収できたことを人権問題と結びつけて、よりよい社会になるように、まずは自分から行動していきたい。(5年生 人権委員)

私も参議院議員選挙の投票に行きました。以前から政治に興味があり、私は抵抗はありませんでした。日本は投票率が低いですが、「自分の声など届かないし」と相手に求めるだけでなく、自分の人権を失わないためにも投票に行くことは必要だと思いました。(6年生 人権委員)